

栗東歴史民俗博物館

収蔵品展「山と川と暮らし」

会期：令和 7年 9月13日（土曜日）から11月30日（日曜日）まで

こあいさつ

江戸時代、栗太郡に点在していた現在の「大字」に相当する村々は、規模の大小はあれど、いずれも主に農業を生業としていました。石高制を基盤として運営されていた当時の村では、安定した生産が求められ、そのため山野の入会権や灌漑用水の確保が村にとって最優先の課題となっていました。人々の生活は、山や川といった自然と深く結びついており、これらは暮らしに欠かせない存在だったのです。このような生活様式は、昭和時代の高度経済成長期まで受け継がれてきました。

本展覧会では、栗東歴史民俗博物館が収蔵する民俗資料（民具）や古絵図などを通じて、山や川が人々の暮らしと密接に関わっていた時代の姿を振り返ります。

令和 7年 9月13日
栗東歴史民俗博物館

凡例：□は滋賀県指定有形文化財

凡例	資料名	員数	年代	所蔵者等
□	慶長七年 江州御検地帳写	1冊	文政2年（1819）写	館蔵（『里内文庫資料』No.358-9）
□	鈎五ヶ村入会地絵図	1鋪	明治6年（1873）	館蔵（『里内文庫資料』No.355-5）
	西田恵泉「早朝」	1点	昭和11年（1936）頃	個人蔵
	山籠	1点	近現代	館蔵
	牛の糞	2点	近現代	館蔵
	伏見人形（牛）	1点	大正時代	館蔵
	手原村安養寺村山論相論裁許図写	1鋪	宝永5年（1708）	栗東市 安養寺南区自治会 （『安養寺共有文書』のうち）
	赤坂山自彊紀年林周辺模型	1点	現代	館蔵
	散弾銃用バックルと薬莢	一括	現代	館蔵
	四季耕作図蒔絵膳・椀	20組	明治時代（19世紀）	個人蔵
□	一ノ井中ノ井今井井筋絵図	1鋪	元禄11年（1698）	館蔵（『里内文庫資料』No.355-4）
□	一ノ井中ノ井今井井水論裁許絵図	1鋪	元禄11年（1698）	館蔵（『里内文庫資料』No.355-8）
□	野洲川草場相論絵図	1鋪	延宝2年（1674）	館蔵（『里内文庫資料』No.355-6）
	蛇籠（復元）	3点	現代	館蔵
	魚入れ	4点	近現代	館蔵
	刺し網	1枚	近現代	館蔵
	投網	1枚	近現代	館蔵

【関連企画】

○展示解説会：9月23日（火・祝）、10月13日（月・祝）、11月24日（月・休） いずれも14時から